

環境について考えよう

6月5日(土)／生涯学習センター（大字大島）

6月の環境月間に合わせ、生涯学習センターオープンギャラリー壁面に町内小学生の皆さんの作品が196点出品されました。この展覧会は、「環境に良い活動・行動」をテーマとし、「小学生環境ポスター展覧会」として開催されたものです。



(広報特派員 渡辺 光子)



カルミアの花が、満開！！

5月18日(火)／杉戸町内（大字宮前）



宮前の渡辺さん宅で、パラソルのような愛らしい花が魅力的な「カルミア」の花が満開に咲き誇っていました。金平糖のような形をした、濃い色のつぼみを持ち、花が開くと皿形となり、薄く模様が入った愛らしい花姿でした。2メートル以上の大きさで、40年以上の立派な大木です。

(広報特派員 戸張清美、古谷文子)



地域の話題を撮って出し

杉戸町広報特派員を紹介します

問合せ 秘書広報課 広報広聴担当 内線286

杉戸町広報特派員とは？

町では、住民参加の広報紙づくりをするために、杉戸町広報特派員（以下、特派員）を委嘱しています。特派員は、地域内の身近な話題、出来事、取り組みなどを取材し、広報記事を執筆したり、特派員会議に出席して、広報に関する意見・提案などを行っています。

令和3年度の広報特派員は10名。皆さんのお住まいの地域へ取材・撮影に伺う際は、ご理解ご協力をお願いします。

令和3年度の杉戸町広報特派員の氏名と担当地区（敬称略）



▲特派員の目印「名札」と「腕章」

町ホームページでは、広報特派員の活動や広報紙に載せきれなかった記事を掲載しています！（QRコード）



広報特派員を募集しています！

資格 町の出来事などに興味があり、積極的に情報提供に努めていただける方

活動内容 ・地域の情報提供、投稿
・広報紙、ホームページなどへの提言

定員 若干名

任用期間 委嘱日～令和4年3月31日

▼実際の掲載された記事

取材後、報告票を作成していただき、写真とともに広報すぎと「特派員れぽーと」に掲載します。



5月17日(月)／株式会社パカンと協定締結

災害時の避難施設に関する情報が提供されます

この協定締結は、避難される方が、リアルタイム空き情報配信プラットフォーム「VACAN(パカン)」にパソコンやスマートフォン等でアクセスすることで、各避難所の位置や混雑状況を確認することができ、町民生活の安心・安全を確保し、町の防災力の向上にもつながります。

📍くらし安全課



(写真左から)株式会社パカン河野代表取締役、古谷町長

パソコン、スマートフォン等をお持ちの方は、ぜひご利用ください。
📄 関連ページP4
(※写真撮影時のみ、マスクを外しました。)

5月24日(月)／明治安田生命保険相互会社と協定締結

相互の連携により行政サービスを向上

町民の健康増進やサービスの向上を図るため、明治安田生命保険相互会社と包括連携協定を締結しました。健康、子育て、安心・安全、産業、スポーツなど幅広い分野で連携し、協力をしていきます。

📍政策財政課



(写真左から)古谷町長、越谷支社常峰支社長

常峰支社長コメント：生命保険会社だからこそ実現できる強みを生かし、取り組んでいきます。

古谷町長コメント：連携による行政サービスを実施し、住民に喜ばれるまちづくりを推進していきます。
(※写真撮影時のみ、マスクを外しました。)

5月27日(木)／お菓子な仲間のおかしな会

新たな魅力でスペシャルな時間を

仕事創造ファクトリー「ひとつ屋根の下」(流灯工房：杉戸三丁目)にて、こだわりのスイーツを1日限定で5店舗が販売し、にぎわいをみせていました。

📍商工観光課



わたしたちの月3万円ビジネス講座の卒業生が出店し、今後は月1回程度の開催が予定されています。

5月4日(火)／ホールDEおはなし会

広いホール、大きなスクリーンで楽しめました

生涯学習センター多目的ホール（大字大島）にて、おはなしポケットによる「ホールDEおはなし会」が、開催されました。開催中は、終始和やかな雰囲気で行われ、スクリーンに映し出される紙芝居に合わせてじゃんけん大会を実施し、大いに盛り上がっていました。

📍町立図書館



📄プログラム「おまんじゅうのすきなのさま」「どかどかじゃんけん大会」「おとうさん」

5月9日(日)／第36回春季テニス（硬式）大会

勝利を勝ち取り、絆を深め合う

南テニスコート（大字堤根）にて男女合わせて45ペアが熱戦を繰り広げました。

📍社会教育課



大会結果／**男子** 優勝「藤城雄一・藤城俊」、準優勝「大川翼・佐藤正幸」、3位「春日敏雄・郡嶋政司」「野原宏・小林雄一」、コンソレ優勝「佐藤周平・鈴木貴志」**女子** 優勝「本谷由美子・金子幸子」、準優勝「森田智愛・松本布子」、コンソレ優勝「小野寺克江・安部啓子」

5月15日(土)／農のサポーター育成塾

講義や実践的な体験で学習

アグリパークゆめすぎと（大字才羽）にて、農のサポーター育成塾が開校しました。4名の塾生を迎え、全10回の講座を実施し、援農ボランティアとして活躍するための知識と経験を積んでいきます。

📍農業委員会



農家の高齢化や後継者不足などによる担い手不足に対応するため、農業の応援団として生産現場を手伝う、援農ボランティアを育成する事業です。